

令和4年度 公約推進のためのまちづくり懇談会 質疑応答

日 時：10月15日（土）午後6時～7時30分

場 所：桐生市新里総合センター 3階 大会議室

参加者：一般81名、報道機関1名 合計82名

| | |
|-------|---|
| 質問者 A | 「新たな時代の自治会のあり方・運営を共に考え・共に創る」の説明があったが、集会所などの自治会の集まる場所の整備、リニューアルについて、建築後20年、30年と経ってきているので、今後の計画を考えてほしい。 |
| 市長 | 集会所については、地域の方々の密接な活動の拠点として使用いただいていると思う。 大々的な整備改修については、市の方で検討させてもらいたい。現在、今後の市有施設の今後の方向性を示す計画を策定しているところなので、その中で集会所等の個々の施設については、地元の方々と協議しながら検討してまいりたい。 必要性の高い施設については、改修等を行い、あまり使われていない施設については統合するなど、地元の意見を参考にしながら進めてまいりたい。 |

以上

令和4年度 公約推進のためのまちづくり懇談会 質疑応答

日 時：10月22日（土）午後6時～7時30分

場 所：黒保根町山村開発センター 2階 研修集会室

参加者：一般60名、報道機関1名 合計61名

| | |
|-------|---|
| 質問者 A | <p>学校の跡利用について、黒保根学園の開校に伴い閉校した黒保根中学校が使用されていないようである。</p> <p>先日、市内の少年野球のチームが練習で使用しており、話を伺ったところ、非常に良いグラウンドであるとのことであった。</p> <p>旧黒保根中学校の跡利用については、企業誘致も考えられるが、スポーツや文化活動の合宿施設にすると良いのではないかと考えるが、市長の考えを伺いたい。</p> |
| 市長 | <p>現状、市では、旧黒保根中学校の跡利用に関する方針を出していないが、校舎やグラウンドは使用しなければ経年劣化で傷んでいってしまう。</p> <p>いただいた意見を踏まえ、地域の方々の愛着や誇りが残るような活用方法について、皆様の意見を伺いながら、早急に検討し、跡利用方法を決定してまいりたい。</p> |
| 質問者 B | <p>市有地の活用について、八木原地区では、グランピング施設を誘致してもらい、雇用創出や地域経済の活性化に期待している。一方で、合併前の黒保根村時代からの懸案であった、下田沢地区にある工場適地について、市長は、どのように取り組んでいきたいと考えているか伺いたい。</p> |
| 市長 | <p>下田沢工場適地については、太陽光発電事業用地としての活用を希望する事業者があったが、その後、事業を取りやめるとの報告を受けた。そのことを契機に、雇用創出や経済効果が創出される、また、黒保根地区の自然環境などの地域資源を活かせるような企業の誘致をしたいと考え方向転換し、取組を進めているところである。</p> <p>黒保根地域への企業誘致について、皆さんの知恵を貸してもらい、検討してまいりたいと考えているので、よろしく伺いたい。</p> |
| 質問者 C | <p>防災無線のデジタル化について、許認可の関係で進捗が遅れていることについて報道で知り、地元への説明が不十分であったと感じている。現在の進捗状況について伺いたい。</p> |

| | |
|------------|---|
| 市長 | 担当部長がいるので、説明をお願いしたい。 |
| 共創企画 部長 | <p>今般の件については事業者の不手際により、本来であれば9月に整備完了予定であったが、国への確認等もあったことから進捗が遅れたものである。</p> <p>昨日の10月21日に開催された市議会の総務委員会において、最終的な報告をしたところであるが、事業者が適切な再発防止策を徹底すること、市が発生した経費等を含めて損害賠償等の請求を行うこと、それらについて、事業者が誠意をもって対応することから、引き続き同事業者と契約を行い、事業を進捗するとしたところである。</p> <p>具体的には、契約期間を令和5年3月31日までとし、今年度中に防災情報伝達システムの整備を完了することとした。</p> <p>来年の出水期に備え、より防災体制を充実させることにより、皆さんの安全な暮らしを確保したいと考えている。</p> |
| 質問者 C | 整備完了と言うのは、どのような状態を指すのか。 |
| 共創企画 部長 | <p>今般のシステムでは、無線をデジタル化するとともに、FMラジオやスマートホンアプリ、それらを持たない方のための固定電話への情報発信など、複数の手段で情報を伝達するものであり、それらの整備の全てを令和5年3月31日までに終わるといえるものである。</p> <p>整備が完了した段階で、早急に皆さんに周知を図りたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。</p> |
| 質問者 D | <p>先月まで、地域おこし協力隊と共に黒保根地区の野菜などを桐生地区で販売する黒保根マルシェを行っていたが、隊員の退任に伴い終了してしまった。</p> <p>いつ再開するのかといった客の声や黒保根地域の農家の声もあるのだが、再開してもらえるか。</p> |
| 市長 | <p>黒保根マルシェについては、135回実施され、大変好評であったとの意見を伺っている。また、駅ナカ市や月に一度の買場紗綾市でも黒保根の農家の方々が出店し、野菜を販売しており、様々な形で黒保根地区の農産物を周知されていると思う。</p> <p>黒保根マルシェについては、民間の取組に近い形になるが、意見をつなぎ、しかるべき対応を検討してまいりたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。</p> |
| 質問者 E | <p>花見ヶ原森林公園のグラウンドについて、黒保根学園の陸上部の練習に使用したいと市に相談したところ、今年度は市の管理であるため、使用して良いとの話をもらったが、来年度からは指定管理制度を導入することである。民間の管理になった後、夏場の間だけでも使用させてもらえるとありがたいので、よろしくお願ひしたい。</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>観光情報の PR について、道の駅やまびこには、日光帰りの観光客など、市外からの来訪者が多く立ち寄る。桐生市内の観光情報を道の駅やまびこで PR すると良いと考えるが、市長の考えはいかがであるか。</p> |
| 市長 | <p>花見ヶ原森林公園の管理については、令和 5 年度から民間に指定管理をお願いすることになるが、希望に添えるよう事業者を検討をお願いしたい。</p> <p>道の駅やまびこにおける観光 PR については、効果的であると思うので、やまびこの方々と協議をしながら、スペースの都合や人員の問題などの課題を把握する中で、検討してまいりたい。</p> |

令和4年度 公約推進のためのまちづくり懇談会 質疑応答

日 時：11月12日（土）午後2時～3時30分
 場 所：美喜仁桐生文化会館 4階 スカイホール
 参加者：一般122名、報道機関2名 合計124名

| | |
|--------------|--|
| <p>質問者 A</p> | <p>旧桐生女子高校と旧桐生南高校の跡地について、活用する事業者が決まったようであるが、経過や現在の状況を伺いたい。</p> <p>また、両校の跡地活用について、市長さんの意見や感想、期待することなどを伺いたい。</p> |
| <p>市長</p> | <p>両校の跡利用については、群馬県知事に対して、地域に根差し、雇用創出にもつながるような、地域振興、地方創生に資するような検討を要望した。</p> <p>そうしたところ、旧桐生南高校は、株式会社オープンハウスがスポーツに関する研修・研究施設等にするための取組を行う予定となり、旧桐生女子高校は、学校法人角川ドワンゴ学園が沖縄県うるま市の N 高、茨城県つくば市の S 高に次ぐ、通信制の私立高校を令和7年4月から開始することとなった。</p> <p>現在の状況としては、旧南高校は、学校施設を民間施設とするため、建築物の用途変更手続き中であるが、その辺りがクリアできれば取組が開始されると伺っている。</p> <p>旧桐生女子高校はコロナの影響により、当初の予定から2年間遅くなったが、令和7年4月の開校に向けて進めていると伺っている。</p> <p>両校共に、桐生市を代表する素晴らしい OB、OG を輩出した学校であり、建物を取り壊さずに活用した取組が進められるとのことなので、大変、嬉しく思っている。</p> <p>また、角川ドワンゴ学園が通信制の高校とする旧桐生女子高校では、約2万人の生徒が在籍する予定と伺っており、毎週、約200名の生徒が入れ替わりで、スクーリングを行い、桐生市に滞在する。桐生市を知ってもらう機会として、また、宿泊や食事などで経済効果も期待できるので、しっかりとつなげていきたい。</p> <p>両校共に、私が群馬県に要望した方向性に進んでいるので、大変嬉しく思っている。</p> <p>今後についても、両校の OB、OG の意見を反映できるよう取り組んでまいりたい。</p> |
| <p>質問者 B</p> | <p>新桐生駅について、都心からの玄関口である、新桐生駅の周辺整備事業では、エレベーターやスロープ、多機能型トイレが新設されたことで、急な階段を上り下りすることがなくなり、身体が不自由な方や高齢者が楽に利用できるようになった。また、駅前もきれ</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>いに整備されたことに御礼申し上げます。</p> <p>少し、気になることとして、駅構内の売店がなくなり、レンタサイクルも貸出しが中止されており、さみしい状況になっている。</p> <p>売店を復活するなど、賑わいを感じられるような取組が必要であると考えているが、市長は、どのように考えているのか伺いたい。</p> |
| 市長 | <p>新桐生駅の周辺整備については、エレベーターの設置等により便利になったとの声を寄せてもらっており、また、乗降客数が増えていると伺っている。</p> <p>また、先日、市外の特別支援学校の児童生徒がエレベーターの設置により新桐生駅で下車し、市内観光ができたと伺い、本当に良かったと思っている。</p> <p>売店の件については、桐生商工会議所が東武鉄道から借りて運営を行ってきたが、今は営業が止まっている状況である。</p> <p>現在、売店の再開に向けた準備を進めていると伺っており、そう遠くない日には再開できる見込みであると伺っている。また、レンタサイクルについても、売店の営業に併せて再開できる予定と伺っている。</p> <p>新桐生駅は、東京方面からの玄関口であるため、引き続き桐生市の魅力を伝えられるよう取り組んでまいりたい。</p> |
| 質問者 C | <p>商店街での一番の問題は人口減少である。</p> <p>人口を増やすことは難しいと思うが、どうか、人口減少のスピードを緩やかにできないかと思う。</p> <p>国の政策や社会的背景など、様々な問題はあると思うが、市長が特に実現したい人口減少対策に関する取組について伺いたい。</p> |
| 市長 | <p>ご意見のとおり、人口を増やすことは実態として難しいものと考えている。</p> <p>そうした中では、ターゲットをどこに置き、取組を進めるかがポイントになると考えており、個人商店が多い特徴やものづくりの文化を活かし、若者世代を対象にしたいと考えている。</p> <p>空き店舗を活用した起業に関する助成制度やきりゅう暮らし応援制度も充実しているので、そうした施策も PR しながら、本市に移住し起業してくれる方々の支援に注力していきたい。</p> <p>その一方で、国の示す将来人口推計では、本市の人口が 2045 年には約 6 万 7 千人に減少することが示されていることを踏まえ（将来的には 6 万 7 千人に減少すると推計）、ダウンサイジングの考えに基づき、人口減少に対応したまちづくりを進める必要もあると考えている。</p> <p>先程、18 歳未満の医療費無償化の説明を行ったが、全国的には給食費無償化に</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>関する議論もあると思う。人口減少対策に資する様々な支援は必要であるが、同時に将来を見据えた桐生ならではのまちづくりの在り方を、皆さんと共に検討していく必要があるものと考えている。</p> <p>先ほどの説明と重複するが、桐生市総合戦略推進委員会ワーキンググループの提言を踏まえ、移住・定住を行った方たちが働きやすい環境づくりができるよう、ワンストップ窓口を設置し、桐生市に移住して良かった、住んで良かったと、多くの人から桐生市が選ばれるまちになるように取り組んでまいりたい。</p> |
| 質問者 D | <p>黒保根地区のグランピング施設について、オープンはいつぐらいを予定しているのか。</p> <p>先だって、黒保根地区の観光ガイドの研修会を行い、市の職員にもお世話になったが、黒保根地区の自然環境は素晴らしいと感じた。美味しい豆腐屋があり、大豆畑もあるとのことで非常に感動した。グランピング施設ができることで、より地域が活性化されることが考えられる。</p> |
| 市長 | <p>当初は今年の夏に予定していたが、事業者の予定が遅れているとのことで、令和 5 年の春にはサウナ施設などから徐々に開始されていくと伺っている。</p> <p>ご意見のとおり、黒保根地区には素晴らしいポテンシャルがある。わたらせ渓谷鐵道や道の駅やまびこ、利平茶屋森林公園、花見ヶ原森林公園、水沼駅温泉センター、黒保根学園など、これらを活かした取組ができると良いと考えている。</p> <p>グランピング施設ができることにより、様々な波及効果が期待されると思うので、事業者としっかりと連携し、取り組んでまいりたい。</p> |
| 質問者 E | <p>環境問題について、群馬県内で一番考え、実行しているのは桐生市であると考えている。世界的に SDGs の取組が推進されるなど、環境問題は無視できない問題であると思う。</p> <p>球都桐生について、桐生市は昔から野球と織物のまちというイメージがあり、樹徳高校の 30 年ぶりの甲子園出場や球都桐生の日の宣言など、素晴らしいと感じている。</p> <p>織物について、織物のまちであることを真剣に考えるべきである。高崎市に JETRO ができ、海外向けに需要がある場合は話が進められる。桐生市でも既に取り組むことにより成果を上げていると伺っているが、海外で絹や生糸の需要は高いということなので、より具体的に織物産業の復興に向けた取組を進めるべきだと考える。</p> <p>また、人口の流出に加え、企業の流出が続いていると思う。そうしたところ、桐生信用金庫の本部が太田市に移ると噂に聞いた。ある学者が桐生市は消滅可能性都市であると言うが、そうしたことにならないよう、対策が必要であると思うが、市長の考えを伺いたい</p> |

| | |
|----|--|
| 市長 | <p>環境問題に関しては、子どもたちには絶滅危惧種であるカッコソウを通じた環境教育を推進しており、SDGs についても総合計画や報道向けの資料、また本日の資料などでも、政策を進める中で、ロゴを示すなどして浸透を図っている。今後については国のSDGs 未来都市について、研究しながら取り組みたいと考えている。</p> <p>JETRO の活用に関しては、桐生織物協同組合などを通じて織物産業の輸出に取り組んでいる。また、海外販路の拡大に向けて、群馬県産業支援機構との連携や関東経済局への職員の派遣なども通じて取り組んでいるところである。</p> <p>桐生信用金庫の件については、一企業として決めることになると思うが、本店としての機能は桐生市に置き、将来的には本店の建て替えを行い残すという話も伺っている。今後も変わらぬ営業活動を行ってもらえるよう、引き続き連携を取りながら、お願いしてまいります。</p> |
|----|--|